

膵手切除術後合併症の予測因子解明に関する後ろ向き観察研究

1. 研究の対象

2010年1月1日～2024年12月31日に当院消化器外科で膵手術を受けられた方。

2. 研究目的・方法

膵頭十二指腸切除術をはじめとする膵手術は、消化器外科手術の中でも特に高侵襲であり、術後の合併症率が高いことが知られています。膵液瘻、術後出血、腹腔内感染、消化管瘻など、重篤な合併症が発生した場合には、長期の入院や追加治療を要することが多く、患者の予後やQOLに大きな影響を及ぼします。

しかしながら、これらの合併症の発症に関連する因子や、予測可能な指標については未だ不明な点が多く、本研究では術後合併症の発生頻度、危険因子、発症傾向を明らかにし、将来的な合併症予防やリスク評価の確立に貢献することを目的とします。

本研究は、秋田大学単施設における後ろ向き観察研究です。具体的には、過去に当院で施行された膵手術症例を対象に、診療録（紙カルテ、電子カルテ）の情報や過去の検査データを用いて後方視的に解析を行います。

研究実施期間：研究実施許可日～2028年3月31日

試料・情報の利用開始予定日：2025年8月26日

3. 研究に用いる情報の種類

病歴、血液検査結果、ドレーン排液等の生化学検査結果、細菌培養検査結果、レントゲン検査、CT検査等の画像等を使用します。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立秋田大学大学院医学系研究科 消化器外科学講座 医員 齊藤 佑介

住所：秋田市本道 1-1-1

電話：018-884-6215

研究責任者：

国立秋田大学大学院医学系研究科 消化器外科学講座 教授 有田 淳一

試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称：

国立大学法人秋田大学大学院医学系研究科 研究科長 羽渕 友則